

令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立川津小学校）

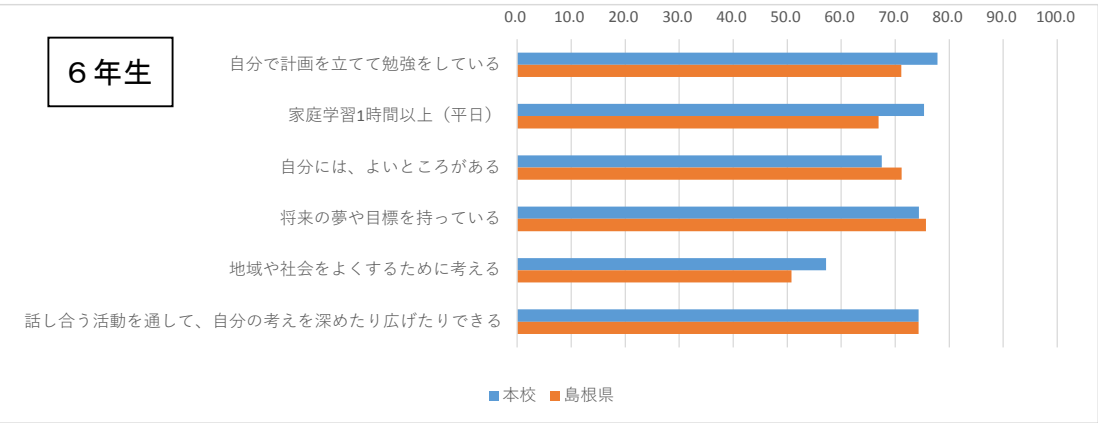
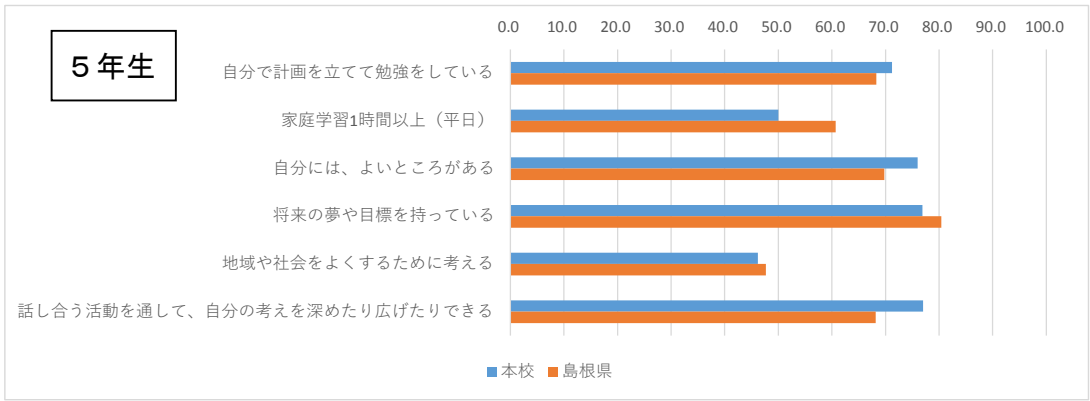
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年 国 語	○物語や説明文の内容を読み取ったり、文章の情報を整理したりする問題の正答率が高く、文章を正確に読み取り、自分の考えを広げていく力がついている。 ●段落の役割について理解し、適切な構成で文章を書いたり、既習の漢字を文章の中で正しく使うことに課題がみられる。	6 年 国 語	○物語や説明文の内容を正しく読み取ること、既習の漢字を正しく書く問題の正答率が高かった。また、インタビュー場面での話の内容を捉えることがよくできていて、「話す・聞く」力も定着していることがうかがえる。 ●文章全体の構成や展開を考えて文章を書くことを苦手としていて、「書く」領域は正答率が低かった。
5 年 算 数	○小数のかけ算やわり算、図形の角を式を用いて求める問題等は正答率が高く、基礎的な力はしっかりとついている。 ●式の意味を説明したり、数量をくらべるために立式して説明したりする記述問題の正答率が低く、基礎的な力を活用して主体的に問題に取り組むことに課題がみられる。	6 年 算 数	○全国学力調査で課題だった図形領域が今回は良かった。対称な形や体積など、授業で作図や操作活動などを多く取り入れた成果が感じられる。 ●「変化と関係」の領域の正答率が低かった。特に比をつかって、説明を記述する問題は、無回答もあり、苦手としている児童が多いことがうかがえる。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年	○話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりできる項目で肯定的な回答が多い。授業中のグループ活動や、朝の対話タイム等の成果が感じられる。 ●家庭学習の時間がかなり少ないという実態が見える。自分で計画を立てて勉強する力はあるので、課題の出し方や量を検討していく。	6 年	○家庭学習では、自分で計画を立てて、学習時間もしっかりとれている児童が多い。地域や社会のことを自分事として考えようとする姿も見える。 ●自己肯定感が少し低く、将来の夢や目標をもっている児童がやや少ない。
--------	---	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 5年生 104名 6年生 117名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。